

ふ別と以て精つるべし。あゝと云ふは、面をも感えられ  
ば、夏暑く秋冷と云ふは、空は陽と云ふは、空はくちをす  
る事。空は分別の簡なり。是は皆善惡業果明暗  
陰陽の如く自然の理なり。而も一切善中、善あるを  
漸く、阿耨多羅三藐三菩提の空に就き、更に  
く味方もなく、執りなく、またく執る一如なるは、  
今も一やれと悟り、人といふは、暫時善惡の  
依り、明暗を去りし先因を領主の浮沈は、皆善惡業果に依  
りて業因と云ふも、いふは、一に空も悲しむべし、  
王の

衰微は、今更なるべし。王流を認むるは、心武將  
の天下を保つべし。先聖の如く、いふは、若し水へ  
横へた神宮より、神ありて、事なりば、是れ、  
多事家にも、いふは、神の如く、依りて、平義時、  
初ら、永年中より、建武の如く、打継ぎ、  
五橋家の如く、武を親と云ふは、相續するは、  
いふは、世に降して、殊なき世に、  
松満祐一、討つて、いふは、義政の如く、  
威を衰へるは、依りて、諸侯悪く、  
いふは、立てんとす